

林業と建築における木材利用

－川上から川下までの現状と課題－

日本の人工林は収穫期を迎えている。
主たる木材利用先の建築分野においては、
法令改正により木材利用のしやすい環境への整備が進んでいる。
林業、製材業、建設業は地方創生や産業創出に向けた新たな展開が求められている。
本シンポジウムでは、木材利用を取り巻く環境の現状と課題を整理するとともに、
木材利用の国策と今後の学術活動のあり方について議論する場としたい。

開催日時：

令和元年9月30(月)

13:00～17:00

開催場所：

日本学術会議 講堂

(東京都港区六本木7-22-34)

主催：

日本学術会議
農学委員会林学分科会

後援：

(一社)日本木材学会
(一社)日本森林学会

参加費：

無料(事前申込不要)

講演：

森林・林業・木材利用の現状と課題

鯨島 正浩 (日本学術会議連携会員、信州大学工学部教授)

中層大規模時代の木材利用、品質確保

青木 謙治 (東京大学大学院農学生命科学研究科准教授)

海外の中高大規模建築物と日本における課題

五十田 博 (日本学術会議連任連携会員、京都大学生存圏研究所教授)

実務からみた中高層建築物の可能性と木材利用の課題

貞広 修 (日本建築構造技術者協会木質系部会主査、清水建設設計本部上席設計長)

総合討論：

今後の建築分野での木材利用に向けて

モデレータ 杉山 淳司 (日本学術会議連携会員、京都大学生存圏研究所教授)

問い合わせ先

丹下 健 (日本学術会議会員、東京大学) E-mail tange@fr.a.u-tokyo.ac.jp
五十田 博 (日本学術会議連任連携会員、京都大学) E-mail hisoda@rishi.kyoto-u.ac.jp